

特別寄稿

NPO法人国際社会貢献センター
設立5周年を迎えて

佐々木 幹夫 (ささき みきお)
社団法人日本貿易会 会長
(国際社会貢献センター (ABIC) 会長)
(三菱商事株式会社 会長)

国際社会貢献センター (ABIC) は、2000年に日本貿易会の内部組織として産声を上げ、今年4月で設立5周年を迎えました。日本貿易会は、会員企業共通の課題への対応活動に加え、業界として直接社会貢献活動に取り組むという方針に基づき、その具体的活動の中心的な役割を果たす組織としてABICを設立いたしました。

当初は、海外経験豊富な国際ビジネスのノウハウを持つ商社OB等の約900名の登録会員で活動を開始しましたが、経済界・業界団体による『業界NPO』の設立は初の試みであり、また会員の現役時代に培った経験、知見あるいは人脈などを生かし、社会貢献活動を行うABICのスキームは、まさに先駆的な取り組みでありました。翌2001年4月には、NPO法人格を取得し活動を本格化させ、以来順調に発展してきており、国内外を問わず活動の分野と機会は顕著に拡大しております。

この場をお借りして、これまでABICを支援していただいた関係者に心から御礼申し上げますとともに、実際に活動をされてきたABICの会員の方々に対して、派遣先でのご活躍に敬意を表したいと思います。

現在の登録会員数は、本年9月末で1,636名に、実際の活動に参加いただいた会員の延べ数は、今年度予定の550名を含め、この5年間で2,000人を超えるまでに拡大してきました。登録会員の約90%が商社、約10%が銀行、メーカーなどのOB・OGの方々となっておりますが、この方々の30~40年に及ぶ、全世界を舞台にした現役時代の活動体験というものは、それ自体が大変な価値のある、また国際的にもレベルの高いものです。取り扱った商品も繊維、機械、鉄鋼、



インドネシア・スマトラ沖地震の復興支援



東京都の中小企業支援 (販路開拓)

エネルギー、生活物資など広範囲に及びます。また、非営業分野では法務、経理、審査、物流などの分野での専門家も数多くおられ、まさにこれらの方々のご集合体であるABICは日本の国際的頭脳集団と呼べる組織ではないかと自負しています。

これまでの主な活動をご紹介しますと、まず国外においてはJICA（国際協力機構）やJETRO（日本貿易振興機構）の発展途上国支援、あるいは様々なNGO組織への協力活動などがあげられます。例えば、南米アンデス諸国の食材を日本に輸入するプロジェクトについて、JETROから日本での市場調査をABICが一括して業務委託を受けました。国連機関の一つであるUNIDO（国連工業開発機関）には、開発投資の評価アドバイザーとしてABICの会員が採用されています。インドネシア・スマトラ沖地震・津波被害復興支援では、JICAの要請による自衛隊緊急医療チームの通訳で活躍いたしました。また、国内では地方自治体の海外ビジネス支援、中小企業支援、対日進出外国企業支援、大学や社会人講座への講師派遣、小中高校への国際理解教育支援、留学生支援などがあり、日韓共催のサッカーワールドカップにもスタッフを派遣するなど多岐に亘っています。

このように、この5年間で様々な社会貢献活動を展開する組織に育ってまいりましたが、数あるNPOのなかでも、あくまで国内外の社会貢献を目的に、これほどまでに活動の輪を広げている組織はないのではないかと思います。商社の財産とも言える人材を、商社を離れてからも、社会のために有効活用するABICの機能を、日本貿易会としても高く評価し、誇りに思っています。

1998年12月にNPO法（特定非営利活動促進法）が施行されて約7年が経過しましたが、現在わが国には約23,000のNPO法人が存在していると言われてい



留学生支援（日本語指導）

ます。社会教育、



ABIC創立5周年記念懇親会
（佐々木会長挨拶2005年9月12日）

国際交流、難民支援、災害救助、保険、医療など広範な分野で社会的にその存在意義が徐々に認められてきており、将来的には社会の機能の重要な担い手としてNPOの意義はますます大きくなっていくものと考えられます。

ABICとしてもその存在理由を一層強固なものにするために、しっかりした財政基盤、人的基盤を確立し、これからも従来のパターンにとらわれず、多様化する国内外のニーズを先取りして、活動対象の開拓を図りながら高い志を維持しつつNPOとしての使命をこれからも果たしていただきたいと思ひます。

日本貿易会のキャッチフレーズは「グローバル・フロンティア」です。これは、世界規模で新たな市場ニーズを創出することによって、経済の活性化に貢献しようと、という気持ちを表したのですが、これからもABICと日本貿易会の両組織がこのキャッチフレーズの下に、お互いに緊密な関係を保ちながら進化と発展を図っていきたいと思ひます。

最後に、先月ABIC設立5周年を記念して懇親会を開催させていただきましたが、その折は、設立から今日まで、いろいろとご尽力いただいた方々やご支援いただいた方々、ABIC会員など総勢230名にご参加いただき、共に祝っていただきました。今後とも関係の皆様には、引き続きABICへのご支援、ご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

